



STANDARD 特定小電力トランシーバー FTH-50 取扱説明書

20 チャンネル

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。
このトランシーバーは国内専用モデルです。海外では使用できません。

製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

株式会社バーテックススタンダード
国内営業部
〒153-8644 東京都目黒区中目黒4-8-8
電話：03-3719-2231

株式会社バーテックススタンダード 〒153-8644 東京都目黒区中目黒4-8-8
© 2011 VERTEX STANDARD CO., LTD. All rights reserved.



付属品

ベルトクリップ(取付け用ビスも含む).....	1
アルカリ単3乾電池ケース(JCPLN0001).....	1
取扱説明書(本書).....	1
安全上のご注意/保証書.....	1

お届けへ

●防水(防湿)について

本機の防水性能を未劣化で確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。
キズ、劣化、外れ、汚れなどの確認
・ボタンやスイッチ類のラバー
・SPMIC ジャックのキャップ
・電池ケースの防水パッキン
お手入れのしかた
水・砂・泥などが付いたときは、柔らかいきれいな布で拭きとってください。必ずSPMIC ジャックのキャップと、電池ケースを確実に閉めた状態で拭きとってください。

オーバーホールのお要
お買い上げから1年経過した後、オーバーホールを行って1年経過した後、またはキズ、劣化等が確認されたときはオーバーホールをお受けます。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご了承ください。

●アフターサービス

①保証期間はお買い上げ日より1年です。
本製品には保証書が添付されています。お買い上げの日から1年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。
過失など、故障内容によっては、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。

②保証書は大切に保管してください。

保証書を紛失しますと、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものととして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください。
また、お買い上げ日・販売店名等の必要事項が記入されていない保証書も無効扱いにさせていただきますので、お買い上げいただきました販売店へ「お買い上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

故障かな?と思ったら・・・

間違った操作をしてみてください。
修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

- 電源が入らない!
 - ・電池は正しく取り付けられていますか?
 - ・電池は消耗していませんか?
- 送信できない!
 - ・PTT(送信ボタン)を正しく押していますか?
 - ・受信専用モードがONになっているいませんか?
 - ・相手が話しているときは、送信できません。
 - ・外部マイク使用の場合は、きちんと最後まで差し込まれていますか?
- 通話できない!
 - ・相手と同じ通話モード(ノーマルモード・グループモード)に設定していますか?
 - ・相手と同じチャンネルに設定していますか?
 - ・相手と同じグループ番号(またはDCSコード)に設定していますか?
 - ・プライバシーモードの場合、送信側・受信側ともプライバシーモードの設定がされていますか?
 - ・相手との距離が離れすぎていませんか?
- こちらの声が、相手側で小さく聞こえる!
 - ・PTT(送信ボタン)を押すときに、マイクロボンを握りていませんか?
 - ・マイクから口が離れていませんか?
 - ・音量は適正ですか?
- 勝手に電源が切れる!
 - ・オートパワーセーブ機能が設定されていますか?
 - ・電池が消耗していませんか?
- グループモードで運用中に他の人の通話が聞こえる!
 - ・モニター機能になっていませんか?
 - ・電源ボタンを長押し(約1秒)して電源を切り、再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して電源を入れると解除されます。
 - ・他の人も同じグループ番号を使用している場合があります。
 - ・グループ番号を変えてください。

正常に動かないとき

スイッチを押しても反応しないときや、『故障かな?と思ったら・・・』の項目に従って点検しても正常に動作しないときは、次の操作を行ってください。

- リセットを行うと、登録した内容はすべて消され、工場出荷時の「初期値」に戻ります。

- ①電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ②▲ボタン、▼ボタン、MODE(ON)ボタンを同時に押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③「リ」で鳴り、オールリセットされます。

一時的にモニターをする

受信信号の状態を、一時的にモニターする機能です。

- ①電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ②▼ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

モニターを解除するには、

- ①電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ②再度電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。

定 格

送受信周波数：1ch～9ch: 422.2000MHz～422.3000MHz (125kHzステップ) 01ch～11ch: 422.0500MHz～422.1750MHz
電 波 型 式：F3E
通 信 方 式：シンプラック方式
送 信 出 力：10mW以下(電波法施行規則第6条適合)
受 信 感 度：-74dBμ以下(⑨12dB SINAD)
低 周 波 出 力：400mW以上(⑨0.8、0.7、THD10%)電源電圧3.7V時
(リチウムイオン電池/バック「BN60」使用時)
動作温度範囲：-10℃～+50℃
定 格 電 圧：DC 3.7V
動作電圧範囲：DC 2.2V～4.5V
本 体 寸 法：100×55×26mm
(高さ×幅×奥行き：アンテナおよび突起部を含ませ)
本 体 重 量：約110g(アルカリ単3乾電池を含ませ)
この定格は性能向上のための予告なく変更することがあります。 ※ RoHS 指令対応

オプション

- ①リチウムイオン電池(バック：BN60)
- ②リチウムイオン電池ケース：JCPLN0001
- ③アルカリ単3乾電池ケース：JCPLN0001
- ④シグナル充電機(ACアダプター付)：JCPCN0001
- ⑤6連型充電器(ACアダプター付)：JCPCN0002
- ⑥連結チャージャースタンド：CD-54
- ⑦ACアダプター(連結チャージャースタンド用)：PA-47A
- ⑧スピーカーマイク：JSPMN0001
- ⑨ブームマイク/イヤホン：JSPRN0003
- ⑩小型タイピンマイク/イヤホン：JSPRN0001
- ⑪タイピンマイク/イヤホン(マイク感度切替付)：JSPRN0002

セットメニューで設定する便利な使いかた ②

空きチャンネルを自動で探す

PTT(送信ボタン)を押すと、そのとき空いているチャンネルに設定され(相手のトランシーバーも、自動的に同じチャンネルに設定されます)交信することができます。

- 相手のトランシーバーも、同じグループ番号(またはDCSコード)に合わせた後、オートチャンネルセレクト機能を「ON」にしてください。
- ①電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ②MODE(ON)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③「Acsef」が表示されるまで、MODE(ON)ボタンを何度か押します。
- ④▲または▼ボタンで、「Acen」にあわせます。
- ⑤PTT(送信ボタン)を押します。

この状態でPTT(送信ボタン)を約1.5秒以上押すと、相手と交信することができます。

- ⑥PTT(送信ボタン)を約1.5秒以上押すと、相手局と交信することができません。

自動でマイクの感度を切替える

周囲の騒音の状況に応じて、自動的に適切なマイク感度に切り替わります。騒音の激しい場所と静かな場所を行き来するような場合に有利な機能です。

- ①電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ②MODE(ON)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③「ALof」が表示されるまで、MODE(ON)ボタンを何度か押します。
- ④▲または▼ボタンで、「ALon」にあわせます。
- ⑤PTT(送信ボタン)を押します。

- VOX機能と同時に利用することはできません。

音量を静かにして受信用として使用する

ガイドシステムを機などに使用するとき、PTT(送信ボタン)を押しても「プープ・・・」と警告音が鳴り、ディスプレイに「Er」が表示されて、送信できないようになります。

- ①電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ②MODE(ON)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③「neof」が表示されるまで、MODE(ON)ボタンを何度か押します。
- ④▲または▼ボタンで、「neon」にあわせます。
- ⑤PTT(送信ボタン)を押します。

- VOX機能と同時に利用することはできません。

セットメニューによる機能設定

本機には21種類のセットメニューがあります。
各メニューの設定を変更するときは次の手順で行います。

- ①電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ②MODE(ON)ボタンを押しながら電源ボタンを長押し(約0.5秒)して電源を入れます。
- ③セットメニューが表示されます。
- ④▲または▼ボタンを押すたびに、セットメニューが切り替わります。
- ⑤設定したいメニューを選択します。
- ⑥▲または▼ボタンを押して、点滅している設定項目を選択します。
- ⑦PTT(送信ボタン)を押します。

セットメニューの設定が終了します。
PTT(送信ボタン)以外に、電源ボタンを長押し(約1秒)して電源を切っても、セットメニューの設定を終了することができます。

ディスプレイ表示	機能説明	選択項目	初期値
GP	グループコード(01～38)の選択 グループコードの番号を選択します。	01～38	01
Ph	PTTホルド機能のON/OFF ONにすると、PTT(送信ボタン)を一度押すことにより、再度PTT(送信ボタン)を押さなくても、送信状態になります。 ※ VOX機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
Ac	オートチャンネルセレクト機能のON/OFF ONにすると、PTT(送信ボタン)を押したときに、最も使用していないチャンネルを自動で選び、相手局と交信することができます(相手のトランシーバーも、オートチャンネルセレクト機能をONにしてください)。	OFF/ON	OFF
RL	自動マイク感度切替機能のON/OFF ONにすると、声の大きさに応じて、自動的に適切なマイク感度に切り替わります。 ※ VOX機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
EG	外部マイク感度切替機能 アクセリャの外部マイクを使用する際、マイク感度を三段階で設定することができます。感度を低くするときは「1」、感度を高くするときは「2」に設定します。	1/2/3	2
PS	フックアップ機能のON/OFF アクセリャの外部マイクを使用する際、PTT(送信ボタン)の動作を、瞬時に音声を切替えるボタンに変更することができます。 ※ 送信は外部マイクのPTT(送信ボタン)で行ってください。	P1/L1/L2/L3	P1
ac	VOX機能のON/OFF ONにすると、PTT(送信ボタン)を押さなくても、話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると受信状態に戻ります。 ※ PTTホルド機能および自動マイク感度切替機能と同時に利用することはできません。	OFF/ON	OFF
ol	VOX機能設定 VOX機能動作時、送信状態になるまでの感度を設定します。電音の騒音が大きくなり、話をしていないのに送信状態になる時などは、感度を下げて(数値を小さく)ください。	1～15	8
or	VOX遅延時間設定 VOX機能動作時、話をやめてから受信状態に戻るまでの時間と、0秒(設定値「0」)～5秒(設定値「50」)の間で設定(約0.1秒刻み)できます。	0～50	5 (30.0秒)

LEDインジケータを点灯しないようにする

送信時に「赤色」、受信時に「青色」に点灯するLEDインジケータを、点灯しないようにすることができます。

電池の消耗を抑えたい時や、LEDの点灯が目障りな場合は「OFF」にしてください。

- ①電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ②MODE(ON)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③「Leen」が表示されるまで、MODE(ON)ボタンを何度か押します。
- ④▲または▼ボタンで、「Leof」にあわせます。
- ⑤PTT(送信ボタン)を押します。

音質を切替える

相手の音質を、高域が強調された音質に替えることができます。

騒音の激しい場所などでは、相手の声が聞きやすくなる場合があります。

- ①電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ②MODE(ON)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③「hef」が表示されるまで、MODE(ON)ボタンを何度か押します。
- ④▲または▼ボタンで、「heon」にあわせます。
- ⑤PTT(送信ボタン)を押します。

チャンネルの表示方法を切替える

チャンネルの表示方法を、次の2通りから選択することができます。
チャンネル表示方法が異なるトランシーバーと交信する場合、相手のチャンネル表示方法に合わせる必要があります。

- ①電源ボタンを長押し(約1秒)して、電源を切ります。
- ②MODE(ON)ボタンを押しながら、電源ボタンを長押し(約0.5秒)して、電源を入れます。
- ③「chBf」が表示されるまで、MODE(ON)ボタンを何度か押します。
- ④▲または▼ボタンで、希望の表示方法にあわせます。

80に設定：01⇒02⇒03⇒04⇒05⇒・・・⇒15⇒16⇒17⇒18⇒19⇒20
81に設定：01⇒02⇒03⇒・・・⇒7⇒8⇒9⇒01⇒02⇒03⇒・・・⇒03⇒10⇒11

- ⑤PTT(送信ボタン)を押します。

既定動作を行う前の状態に戻ります。

ディスプレイ表示	機能説明	選択項目	初期値
ro	受信専用モードのON/OFF(ガイドシステム機能などに使用するとき、VOX機能と同時に使用することはできません)。 ONにすると、PTT(送信ボタン)を押しても「プープ・・・」と警告音が鳴り、ディスプレイに「Er」が表示されて送信できません。	OFF/ON	OFF
bo	ビーブ音のON/OFF ビーブ音やスイッチを押したときに、確認音として電音音が鳴ります。この音が鳴りないときはOFFに設定してください。	ON/OFF	ON
bb	送信専用モードのON/OFF ONにすると、送信を始めたときに電音音が鳴ります。 外部マイクでVOX機能を使用するときなど、送信状態になったことを音で確認することができます。	OFF/ON	OFF
ch	チャンネル表示の切替 チャンネルの表示を、1～8、01～11の表示(80に設定した場合)または、01～20の表示(80に設定した場合)に、切替えることができます。	20/81	81
LE	LEDインジケータのON/OFF OFFにすると、送信時にLEDインジケータが点灯しないようになります。	ON/OFF	ON
LP	発着ランプ設定 通常は2に設定されており、ボタンを押すと発着ランプが約2秒点灯します。OFFにすると、発着ランプを常時点灯することができます。	2/OFF	2
CP	コンパンド機能 ONにすると、相手と話しているときに聞こえる「サー」というパツパツの音を軽減し、相手の声を聞き取りやすくします(相手のトランシーバーも、コンパンド機能をONにしてください)。	OFF/ON	OFF
hE	音質切替機能 ONにすると、高域が強調された音質になります。	OFF/ON	OFF
AP	オートパワーセーブ機能のON/OFF ONにすると、2時間何も操作しないとき電源の切り忘れとみなし、自動的に電源をOFFにします。電源が切れる約1分前に「ピピッ」と電音音が鳴ります。	OFF/ON	OFF
ct	コール音選択(1～5)の選択 コール音で呼び出しを待てる「コールトーン機能」が動作する際、コール音が鳴る回数を選択します。 1～5のいずれかの数字を電音音の回数で送信します。送信中にMODE(ON)ボタンを押している際、コール音を選択した回数送ることができる。通常は「1」に設定されています。	1～5	1
PD	PTTディレイ機能のON/OFF(グループモード) 相手の話が終わり、相手が発話になるまで聞こえる「ブザー」という音が鳴る。相手の声をカットして受話します(相手のトランシーバーも、PTTディレイ機能をONにしてください)。	ON/OFF	ON
cb	コールバック機能のON/OFF ONにすると、通話できる範囲にいるか、または電音を切っていないか、常時チェックできます。	OFF/ON	OFF

